

株式投資について

）株式投資のメリット

株主優待

…いわば企業から株主へのお中元・お歳暮といったもの。自社製品の提供や利用割引券などを株主に配布する。

例) 松屋：100 株～ 食事券 10 枚、伊勢丹：100 株～ 10%オフ券 3 枚 etc

配当金

…通常行われる期末配当・中間配当の他に、一時的な利益増加による特別配当、創立記念など祝儀的な意味で行われる記念配当などがある。

新株引受権

…持ち株数が増える株式分割や、額面価格で新株を取得できる額面割当増資のこと(ただし平成 12 年の商法改正で額面株式が廃止されたため、このメリットもなくなった)。

）株主の権利

経営参加権

…株主は株主総会を通じて、間接的に経営に参加することが出来る。

利益配当請求権

…企業が上げた利益の配分を受ける権利。

残余財産分配請求権

…企業解散の際、企業が借金を返済し、なお財産が残っている場合は、その持分比率に応じて財産の分配を受けられる権利。

ディスクローズ

…運営報告書が送られてくる他、一定の情報開示を求めることが出来る。

株主代表訴訟権

…経営陣の背任行為によって株主の権利が侵された場合、経営陣を相手に訴訟を起こすことが出来る

株式投資の種類

ミニ株

…単位株の 1/10 の価格で株を購入することが出来る手法。手軽に株を買えるのが魅力。ただし株主の権利である議決権は持たない(だが持分に応じて配当や株式分割を受けられる)。

株式累積投資(るいとう)

…証券会社が扱っている積立型の投資手法。特定の銘柄を毎月一定の日に買い付け、単位株数に達したら名義を書換えて、株主としての権利を行使できる。

投資信託(ファンド)

…たくさんの投資家から資金を集め、それをファンドマネージャーが株式や債券などに分散投

資して運用し、得られた利益を配分するもの。業種別や投資手段別、投資対象別に株式以上にたくさんのファンドが存在する。

転換社債型新株予約権付社債（Convertible bond, C B）

…当初は社債として発行され、一定期間が過ぎると株式に転換することが出来る社債。債券投資と株式投資の両方の側面を併せ持つ。将来株式に転換されるため、株価の動きに連動する性格を持つ。中～上級者向け。

オプション取引

…ある商品を将来のある期日までに、その時の市場価格に関係なくあらかじめ決められた特定の価格で、買う権利・売る権利を売買すること。かなり難しいし、金もかかる。上級者向け。

参考文献：『株式投資基本のきほん』（2000年） 浅賀卓爾・片寄徳男（著）、高橋書店